

(様式 1-3)

大槌町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	83	事業名	吉里吉里地区漁業集落防災機能強化事業 (直接補助分)	事業番号	C-5-5
交付団体	大槌町		事業実施主体 (直接/間接)	大槌町(直接)	
総交付対象事業費	2,703,771 (千円)		全体事業費	2,812,030 (千円)	
事業概要					
<p>本事業は、吉里吉里地区の住宅地整備と災害公営住宅や公共施設等の整備に併せて、排水施設 (汚水、雨水等) の整備を行うもの (被災前に漁業集落排水事業の実施地区)。</p> <p>吉里吉里地区は、被災前の地区中心部を残すために、防潮堤、水門を整備するほか、防災集団移転促進事業による高台移転、被災エリアでは土地区画整理事業により嵩上げを行い、住宅地のほか商業施設を含む市街地を構築することとしている。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1. 汚水路延長: L=4,749m→4,953m</p> <p>2. 雨水路延長: L=1,766m→1,695m</p> <p>【申請内容】</p> <p>平成 30 年度の工事等に必要な経費 907,360 千円の配分 (既配分額 1,796,411 千円)</p> <p>隣接する他事業 (国道改良事業及び防潮堤事業) との調整結果を踏まえて実施した詳細設計に基づく汚水排水工及び雨水排水工の増額変更である。</p> <p>【復興計画等への位置づけ】</p> <p>大槌町東日本大震災津波復興計画 基本計画 第 4 章 地域別まちづくりの方向性 (吉里吉里地域)</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度~28 年度> 排水施設等設計、汚水施設調査設計、地質調査、漁業集落排水施設設計および排水施設 (雨水・汚水) 工事</p> <p><平成 29 年度> 排水施設 (雨水・汚水) 工事</p> <p><完了予定> H31 年 12 月</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>津波により甚大な被害を受けた吉里吉里地区においては、復興基本方針に基づき、非浸水区域として区画整理事業・防災集団移転事業等による宅地造成及び災害公営住宅等の公共施設の建設が実施されている。</p> <p>生活環境の向上を図るために、汚水及び雨水管渠の整備により下水道処理を適正化する。</p> <p>【吉里吉里地区の被災状況】大槌町東日本大震災津波復興計画基本計画より</p> <p>1. 家屋等の被害状況 全壊 355 棟、半壊 45 棟、一部損壊 24 棟 合計 424 棟</p> <p>2. 死亡者及び行方不明者数 被災前人口: 2,475 人、被災前世帯数: 954 世帯、死亡者・行方不明者数: 100 人</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
※関連する事業があれば記載願います。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

大槌町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	117	事業名	町方地区津波復興拠点整備事業	事業番号	D-15-3
交付団体	大槌町	事業実施主体 (直接/間接)	町 (直接)		
総交付対象事業費	1,365,701 (千円)	全体事業費	1,365,701 (千円)		
事業概要					
地区名：町方地区 本事業は、町方地区における津波防災拠点整備計画に基づき、中心市街地、産業施設及び防災拠点の早期復興を目指すものであり、地域の復興支援を目的としてコミュニティーセンター、避難施設等の整備、産業団地の整備及び誘致を行うものである。 産業集積地エリアについては、平成 25 年度から宅地整備に着手し、順次事業者による建築工事が開始され、引き続き必要な整備を行ってきている。また、御社地エリアについては、複合施設の建設を実施しているところである。 今回は、産業集積地エリアにおける整備費を要望するものである。 平成 29 年度の工事費に必要な経費 14,577 千円の配分。(既配分額 1,351,124 千円) ●拠点区域・・・3.8ha (特定業務施設 2.2ha、公益的施設 0.8ha、公共施設 0.8ha) ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 26~27 年度> ・産業集積地エリア：用地取得、測量試験費、宅地整備工事、道路工事 ・御社地エリア：用地取得、基本設計、宅地整備工事(土地区画整理事業による) ・緑地エリア：用地取得(1,000 m ²)、測量試験費、移転補償費 <平成 28 年度> ・産業集積地エリア：道路工事(W=15.0m、L=240m) ・御社地エリア：実施設計、建築工事(複合施設) <平成 29 年度> ・産業集積地エリア：宅地整備工事、道路工事 (H29 年度 44,732 千円、要望額 14,577 千円) ・御社地エリア：建築工事(複合施設) <平成 30 年度> ・産業集積地エリア：宅地整備工事、道路工事					
東日本大震災の被害との関係					
大槌町は東日本大震災において、沿岸の公共施設が津波による被害を受け、被災後ただちに行われるべき救援活動等にも支障を来した。このため、津波浸水シミュレーション結果を踏まえて、津波に対して安全な津波防災拠点の整備が求められている。 また、地域の早期復興に向け、流出した産業施設の再生や中心市街地再生のために必要となる宅地の整備、市街地再生後における町民の文化活動の拠点整備を行っている。					
関連する災害復旧事業の概要					
御社地エリアの複合施設(図書館部分)については、災害復旧費で対応。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
直接交付先	
基幹事業との関連性	